

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~30年度:計画作成主体:加賀市農業活性化協議会)（ぶどう）

取組の概要

対象品目 : ぶどう（産地面積7.1ha）
 主な取組主体 : 担い手農家5戸
 成果目標 : ぶどうの生産体制整備による販売額10%以上の増加
 基準(H27年度) 1,145千円/10a
 目標(H30年度) 1,115千円/10a
 導入施設等 : パイプハウスフルオープン化資材
 22連棟、16連棟、7連棟、5棟
 乗用草刈機 (21ps×1, 16ps×2)

石川県加賀市
豊地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

産地の販売額増加を図る上で、樹園地の草刈やパイプハウスの換気等の作業の効率化や、棚資材の不足が課題となっている。



【産地の体质強化に向けた方策】

- ①乗用草刈機、運搬車の導入により作業時間の短縮
- ②パイプハウスのフルオープン化により換気の効率化や作業時間の短縮

これらの取り組みにより、さらなる高品質・高付加価値化を推進し、販売額の10%以上の増加を実現する。

産地体制

生産者

高品質・生産拡大

J A 加賀

出荷計画

農林事務所
生産振興

加賀市
事業推進

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・石川県が開発した大粒の高級ぶどう「ルビーロマン」の生産拡大に取り組んでいる。



取組成果

【作業の効率化・適正化による販売額増】

・生産資材の導入と乗用草刈機の導入により各作業の時間短縮・適正化を図り、果実品質、製品率を向上させる。



**ぶどうの販売額
26.7%増加
(達成率265%)**

